

平成24年5月24日

1. 2012年のOECD閣僚理事会に際し、我々¹は議長国トルコ並びに副議長国チリ及びポーランドの下に集まった。我々の議論は、OECDへの加盟プロセスにあるロシア、主要パートナー国（ブラジル、中国、インド、インドネシア及び南アフリカ）及び諸国際機関の参加によって大変有意義なものとなった。
2. 我々は、2011年の閣僚理事会で採択されたOECD50周年構想声明（ヴィジョン・ステートメント）の実施のためになされた確固たる進歩を歓迎するとともに、同構想声明を具体的な成果とするよう一致団結して取り組む。我々は、「事務総長の戦略的方向性」を含め、事務総長が新しいイニシアティブを提案し、OECDの存在感や影響力を高める上で果たした役割を歓迎する。

あまねく広がる成長と雇用

3. 現下の経済情勢を踏まえ、我々は、実効的な構造改革、責任ある財政・社会政策、及び金融セクター安定化のための適切な措置を通じ、あまねく広がる成長と雇用を達成することに強くコミットしている。持続的な経済成長は、死活的な目標であり、将来のOECDの戦略においてグリーン成長を追求する。我々は、多くの国々において格差拡大や高い失業率が見られるとの懸念すべき傾向を含め、現下の経済的諸課題を克服するために、人々と企業に力を与えることの重要性を強調する。それ故に、我々は、人々の技能（スキル）を強化するために更なる投資を行い、技能の供給と需要をよりよい形で適合させることを奨励する。我々は、我々の経済の成功のためには女性の完全参加が重要であることを強調する。我々は、スキル戦略やジェンダー・イニシアティブといったOECDの新しいイニシアティブや、格差、イノベーション、グリーン成長、知的資産を始めとする成長の新しい源泉や進歩の計測に関する現行の取り組みを歓迎する。それらは、有意義な見識や指針を与え、雇用指向の成長と人的資本の価値を評価するための重要な手段として役に立つものである。我々は、開かれた市場や、国際投資及び多国籍企業の責任ある行動のための法的安定性を促進するため、並びに、公営企業と民間企業との間の競争上の中立性を確保するためのOECDの取り組みを歓迎する。

¹ オーストラリア、オーストリア、ベルギー、カナダ、チリ、チェコ、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イスラエル、イタリア、日本、韓国、ルクセンブルク、メキシコ、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ロシア、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、スイス、トルコ、英国、米国、EU

我々は、イノベーションを推進し、効率性を高め、市民の福祉と厚生を増大させるような、現代的かつ開かれた市場経済の原動力としての競争を引き続き推進する。

4. 我々は、開かれた多角的貿易体制、更なる自由化、あらゆる形態の保護主義との闘い、そして貿易を制限し投資に有害となる措置をとることを控えるとの我々のコミットメントを再確認する。この目的のため、我々は、G20カンヌ・サミットにおいて再確認されたとおり、スタンスティル及びローバルバックのコミットメントに同意し、OECDに対し、それらの措置を監視し、また、貿易委員会に対し、貿易関連措置の影響を測定することに関する報告書を作成し、ワークショップを開催すると同委員会の決定を実行することを要請する。我々は、貿易と雇用の関係、グローバル・バリュー・チェーン、付加価値貿易の測定及びサービス貿易制限に関するOECDの作業、並びにWTOとの協力の下、多角的貿易アジェンダについてOECDが行いよう貢献を歓迎する。我々は、OECDに対し、サービス貿易制限に関するデータベース及び指標を作成する作業を加速・拡大することを、また、その作業を、主要なサービスの提供国及び提供者となることを目指す国にも拡大することを求める。
5. 我々は、経済危機の根本原因とそこから得られる教訓を分析し、必要に応じてOECDの経済分析と政策提言をアップデートすることにコミットしている。それ故に我々は、本日、「経済的課題に対する新たなアプローチ」にかかるイニシアティブを開始する。

開発戦略

6. 我々は、開発に関するOECDの取り組みを強化・主流化し、また、様々な開発レベルの国々が世界規模の持続可能な成長に寄与するという急速に変化する世界情勢への対応を確保する重要な手段としてのOECD開発戦略を承認する。OECDの中核的な政策的知見と経験を足場としつつ、我々はこの開発戦略の実施に向け共に取り組んでいく。我々は、開発のための政策一貫性を強化し、知識共有の促進に努めていく。
7. 我々は、援助効果向上に関する釜山ハイレベル・フォーラムの成果を歓迎し、「効果的な開発協力のためのグローバル・パートナーシップ」の構築を含め、その成果の実施を支持する。我々は、新興国を含む多様なステークホルダーとの対話を強化していく。

グローバルな政策ネットワーク

8. 我々は、ロシアのWTO加盟交渉の完結、OECD外国公務員贈賄防止条

約批准及びOECD原子力機関(NEA)加盟を満足の意とともに留意する。我々は、2007年のロードマップに従い、ロシアのOECD加盟プロセスがさらに進展することを期待する。環境、租税、コーポレート・ガバナンス及びビジネス環境を含む具体的な課題への強固な取り組みが重要である。

9. 我々は、新たな形のパートナーシップや共同作業を発展させるため、主要パートナー（ブラジル、中国、インド、インドネシア及び南アフリカ）のそれぞれとともに取り組むという我々のコミットメントを強調する。我々は、相互に有益な形で、枠組み合意や、各委員会への参加、コミュニケーションの強化などを通じ、これらとの関係を一層強化していく。
10. 我々は、相互利益と関心に基づき、他の諸国、地域との政策対話を深め続ける。我々は、世界規模の持続可能な成長といった共通目標を共に実現するため、OECDのグローバルな政策ネットワークを通じて、我々のパートナーと共に取り組む。我々は、OECDの活動及び組織へのパートナー諸国の参加に関する規則の改善作業を早期に終了することを期待する。我々は、最近多くの国々がOECDの規範に参加していることを歓迎する。我々は、中東・北アフリカ(MENA)地域における改革や、ガバナンス及び開発のための投資に関するMENA-OECDイニシアティブやドーヴィル・パートナーシップへの積極的な参加を含め、これら改革を支援するOECDの取り組みを歓迎する。
11. 我々は、腐敗防止、租税、投資及び企業の社会的責任、環境、及び持続可能な開発の分野を含め、OECDによるグローバル経済ガバナンスにおける貢献を評価する。我々は、OECDがG8及びG20プロセスを含む様々なフォーラムにおいて、比較優位を有する分野で果たす積極的な役割、並びにその世界的な課題に対する貢献を歓迎する。

効率性、有効性及び透明性

12. 我々は、各国行政において節約が追求されていることに留意しつつ、OECDに対し、効率性、実効性及び透明性を改善するため尽力するよう奨励するとともに、データを公開し、最善のマネジメント事例を具体化するとOECDのコミットメントを歓迎する。

(了)